令和元年度進行管理・評価シート
宇治市歴史的風致維持向上計画（平成24年3月5日認定）

（最終変更　平成31年3月25日）

□進捗評価シート（様式1）

①組織体制（様式1－1）
1 宇治市歴史的風致維持向上協議会の開催 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

②重点区域における良好な景観を形成する施策（様式1－2）
1 景観形成助成制度の啓発 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2

③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項（様式1－3）
1 史跡整備事業 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
2 情報発信･観光交流施設整備事業 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
3 重要文化的景観保存事業 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
4 歩道整備事業 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
5 歩行空間整備事業 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
6 無電柱化事業 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
7 観光施設周辺浸水対策事業 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9
8 観光サイン等整備事業 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10
9 建物修景助成事業 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11
10 屋外広告物助成事業 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12
11 宇治茶園支援事業 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13
12 宇治茶品質向上事業 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 14
13 宇治茶普及啓発事業 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 15
14 市営茶室対鳳庵活用事業 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 16
15 宇治川鵜飼助成事業 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 17
16 宇治十帖スタンプラリー開催 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 18
17 京都･宇治灯り絵巻の開催 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 19
18 文化財見学会 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 20
19 歴史･文化啓発事業 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 21
20 文化的景観整備計画策定調査 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 22
21 観光交通対策検討調査 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 23
22 空き町家の活用検討調査 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 24
23 観光周遊道路の整備検討調査 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 25

④文化財の保存又は活用に関する事項（様式1－4）
1 文化財の修理（整備を含む） ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 26
2 文化財の防災 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 27
3 文化財の保全及び活用の普及･啓発 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 28
4 埋蔵文化財の取扱い ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 29
5 文化財の保存･活用に関わる
住民･NPO等の各種団体の状況及び今後の体制整備 ・・・・・・・・・ 30

⑤効果･影響等に関する報道（様式1－5）
1 馳せ馬　雨吹き飛ばす　災厄封じ宇治川へ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 31
2 ･文化財の現場から
･歴史散歩　地域勢力の変化語る巨大墳 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 32
3 所有者の思い応え修繕　日本最古の旧茶工場 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 33
4 歴史公園ﾐｭｰｼﾞｱﾑ 茶、宇治の歴史知り街中へ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 34

□法定協議会等におけるコメントシート（様式2） ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 35

進捗評価シート　（様式1-1）

評価軸①-1
組織体制

評価対象年度	令和元年度
項目	現在の状況
宇治市歴史的風致維持向上協議会の開催	□実施済 ■実施中 □未着手

計画に記載している内容	計画の進捗管理や計画の変更･追加について、関係課から庁内意見を調整し、「宇治市歴史的風致維持向上協議会」に意見を伺うこととする。

定性的･定量的評価（自由記述） *※定量的評価は可能な範囲で*

学識経験者、文化財所有者、各種関係団体及び行政関係者により構成される宇治市歴史的風致維持向上協議会を開催し、計画の進行管理･評価などについて、意見を聞くことができた。

【定量的評価】
宇治市歴史的風致維持向上協議会の開催回数　　：　1回

進捗状況 *※計画年次との対応*	実施･検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

実施期間	種別	検討事項等
平成 31 年 4 月 19 日	第１回 歴史的風致維持向上協議会	【内容】 １．歴史的風致維持向上計画の平成３０年度の進捗評価について ２．歴史的風致維持向上計画の中間評価について ３．歴史的風致維持向上計画の軽微な変更について ４．報告 ①（仮称）お茶と宇治のまち歴史公園整備運営事業 ②観光サイン等整備事業 ③名勝「宇治山」及び史跡「宇治古墳群」の指定等について ④景観重要建造物の指定について ⑤宇治市天ケ瀬ダムかわまちづくり

宇治市歴史的風致維持向上協議会開催の様子　（平成３１年４月１９日）

進捗評価シート　（様式1-2）

評価軸②-1
重点区域における良好な景観を形成する施策

評価対象年度	令和元年度
項目	現在の状況
景観形成助成制度の啓発	□実施済 ■実施中 □未着手

計画に記載している内容	「宇治市景観計画」においては、「悠久の歴史と自然を今に活かしふるさと宇治を誇り伝えん」とした基本理念のもと、市内全域を景観計画区域とし、8つに区分されたそれぞれの区域ごとに景観形成誘導指針及び屋外広告物に関する行為の制限を示している。

定性的･定量的評価（自由記述）　*※定量的評価は可能な範囲で*

本市は、宇治市景観計画重点区域内において、良好な景観の形成に著しく寄与する建築物や屋外広告物の整備に対して助成を行うこととしている。景観重要公共施設の沿道の助成対象区域において「景観形成助成制度のご案内」のパンフレットにより、制度の周知をすすめた。また、屋外広告物助成事業については、市の広報紙「市政だより」による周知も行った。

進捗状況　*※計画年次との対応*	実施･検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

屋外広告物を改善し、まちなみを演出しませんか？

屋外広告物について、デザイン、色彩、材料などを周囲に調和するように整えて、地域のまちなみをより良くする工事を対象に助成をします。

《対象工事》屋外広告物の設置、除却等に係る工事費などで、著しく景観に寄与するもの（ただし、年度内に完了し、年度内に検査を受けられるものに限る）

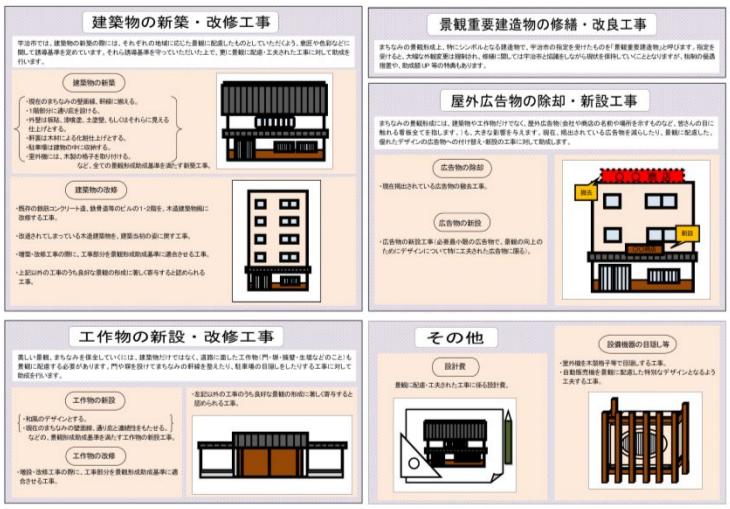
《対象区域》景観計画重点区域

《交付額》工事費の2分の1以下（限度額50万円）

《補助件数》予算額の上限に達するまで（先着順）

申5月15日（水）～12月13日（金）（延長の場合有り）に、歴史まちづくり推進課へ。

市政だよりによる記事



『景観形成助成制度のご案内』のパンフレット

進捗評価シート　（様式1-3）

評価軸③-1
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度	令和元年度
項目	現在の状況
史跡整備事業	□実施済 ■実施中 □未着手

事業期間	平成25年度～令和3年度
支援事業名	歴史活き活き！史跡等総合活用整備事業
計画に記載している内容	壮大な築堤状況が体感できる空間整備と茶園景観の修景とを一体的に行い、多くの市民や来訪者に本市の歴史･文化の総合的理解を促す。

定性的･定量的評価（自由記述）　*※定量的評価は可能な範囲で*

史跡整備事業は、機能時と埋没時の宇治川太閤堤を再現し、太閤堤の果たした役割と歴史の重層性を表現することとしている。
Aゾーンは機能時の太閤堤の護岸施設と宇治川を再現する。遺構再現では、太閤堤の石張り部をGRCパネル、石積み部を遺構と同種の石と杭で再現する。令和元年度は植栽、舗装、ベンチ等の設置及び整備等をおこなった。
Bゾーンは砂に埋もれた太閤堤の護岸施設と、砂州で営まれた茶園景観を復元整備する。令和元年度は、造成園路の整備、排水の設置を行った。

進捗状況　*※計画年次との対応*	実施･検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

Aゾーンの整備の様子
（令和2年3月）

Bゾーンの整備の様子
（令和元年10月）

進捗評価シート　（様式1-3）

評価軸③-2
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度	令和元年度
項目	現在の状況
情報発信･観光交流施設整備事業	□実施済 ■実施中 □未着手

事業期間	平成27年度 ～ 令和2年度
支援事業名	社会資本整備総合交付金（都市再生整備計画事業）
計画に記載している内容	史跡宇治川太閤堤跡の隣接地において、市民と来訪者が利用できる、宇治の歴史や文化を情報発信する施設の整備を行う。当該事業により、宇治橋周辺地域の散策ルートの起点となる場所が確保され、来訪者の目的に応じたまちなか散策を円滑に誘導すると同時に、宇治の歴史や文化を総合的かつ分かりやすく伝えることができる。

定性的･定量的評価（自由記述）　*※定量的評価は可能な範囲で*

PFI方式で実施している歴史公園整備では設計業務が完了し、令和元年10月より建設業務に着手した。

進捗状況　*※計画年次との対応*	実施･検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	令和2年度の計画の達成に向けて事業者と協議･調整を図っていく。

状況を示す写真や資料等

（令和元年12月）

（令和2年2月）

（令和2年3月）

（仮称）お茶と宇治のまち歴史公園整備イメージ

進捗評価シート　（様式1-3）

評価軸③-3
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度	令和元年度
項目	現在の状況
重要文化的景観保存事業	□実施済 ■実施中 □未着手

事業期間	平成24年度～
支援事業名	文化的景観保護推進事業国庫補助
計画に記載している内容	重要構成要素の修理事業を実施し、積極的な活用を図ることにより、賑わいのある沿道景観の魅力向上や伝統的な茶業の継承に寄与する。

定性的･定量的評価（自由記述）　*※定量的評価は可能な範囲で*

重要文化的景観「宇治の文化的景観」の景観重要構成要素である中村藤吉本店の建物修理への補助を行った。

【定量的評価】
景観重要構成要素の届出建物修理修景事業の実施件数：1件

進捗状況　*※計画年次との対応*	実施･検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

中村藤吉本店修理前　（令和元年6月）

修理後　（令和2年2月）

進捗評価シート　（様式1-3）

評価軸③-4
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度	令和元年度
項目	現在の状況
歩道整備事業	□実施済 ■実施中 □未着手

事業期間	平成21年度～令和3年度
支援事業名	社会資本整備総合交付金（道路事業）
計画に記載している内容	史跡公園と宇治川周辺の歴史・文化資源を結ぶ道路であり、歩道を整備することで、来訪者が歴史に触れながら安心して散策できる快適な歩行空間を確保でき、宇治川周辺の回遊性の向上につながる。

定性的・定量的評価（自由記述）　*※定量的評価は可能な範囲で*

令和元年度は、市道菟道志津川線の門前工区で道路拡幅事業用地の取得に取り組み、一部用地では建物等の移転除却が進められた。また、谷下り工区ではJR奈良線大鳳寺踏切の拡幅整備に向けた協議を進めた。

進捗状況　*※計画年次との対応*	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

市道菟道志津川線（門前工区）

（令和元年10月）

（令和2年3月）

市道菟道志津川線（谷下り工区）

（令和2年3月）

進捗評価シート　（様式1-3）

評価軸③-5
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度	令和元年度
項目	現在の状況
歩行空間整備事業	□実施済 ■実施中 □未着手

事業期間	平成２４年度～令和２年度
支援事業名	平成２４年度～平成２８年度：市単独事業 平成２７年度～令和２年度：社会資本整備総合交付金（都市再生整備計画事業）
計画に記載している内容	史跡公園と宇治川周辺の歴史・文化資源や白川集落を結ぶ道路に歩行空間を整備することで、来訪者が歴史に触れながら安心して散策できるようになり、回遊性の向上につながる。

定性的・定量的評価（自由記述）　*※定量的評価は可能な範囲で*

菟道９４号線は、沿道の町内会、水路管理者等との協議・調整を行い、整備範囲等を決定した。
宇治１２号線ほかは、隣接する宇治川を管理する河川管理者、JR奈良線複線化事業の事業者等と協議・調整を行った。
また、令和２年度末の完成に向けて、周辺事業との工程調整を行った。

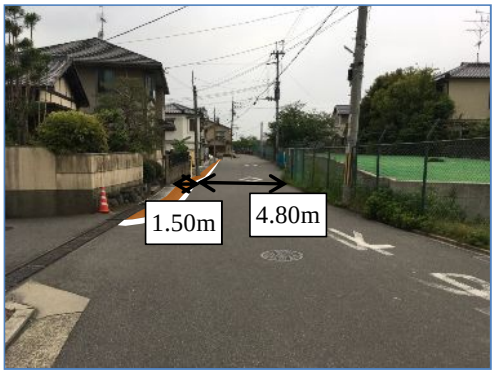
進捗状況　*※計画年次との対応*	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	宇治１２号線沿道において、用地買収が完了していない土地が１件残っている。

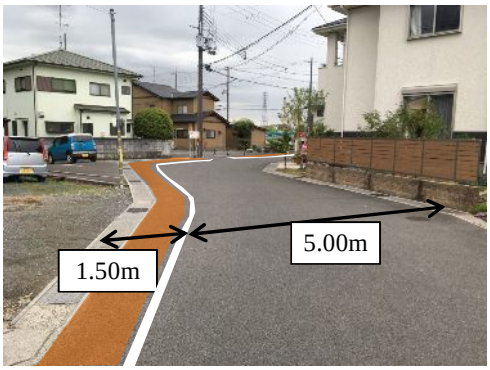
状況を示す写真や資料等

市道菟道９４号線

整備前　（令和２年３月）

整備後イメージ





進捗評価シート　（様式1-3）

評価軸③-6
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度	令和元年度
項目	現在の状況
無電柱化事業	□実施済 ■実施中 □未着手

事業期間	～　令和2年度
支援事業名	地域自主戦略交付金 社会資本整備総合交付金（都市再生整備計画事業）
計画に記載している内容	道路の無電柱化を行い道路景観の改善を行うことにより、沿道の歴史的建造物や巡行する伝統的祭礼との調和が図られるため、歴史的風致の維持向上に寄与する。

定性的･定量的評価（自由記述）　*※定量的評価は可能な範囲で*

令和元年度は、宇治川周辺の回遊性につながる散策路の1つである市道宇治２２８号線の無電柱化の詳細設計に取り組み、河川管理者や電線事業者等関係機関と協議を進めた。

進捗状況　*※計画年次との対応*	実施･検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

【位置図】

無電柱化に取り組むことで伝統的な沿道景観との調和や道路景観の改善を図る。

【整備前】（平成30年1月）

【整備後イメージ】

進捗評価シート　（様式1-3）

評価軸③-7
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度	令和元年度
項目	
観光施設周辺浸水対策事業	□実施済 ■実施中 □未着手

事業期間	平成27年度 ～ 令和2年度
支援事業名	市単独事業
計画に記載している内容	歴史･文化資源や歴史的まちなみの回遊性を確保するとともに、宇治川河畔の参詣や遊覧など歴史的伝統を継承する諸活動が行われている良好な市街地の環境を守る。

定性的･定量的評価（自由記述）　*※定量的評価は可能な範囲で*

砂に埋もれた太閤堤護岸施設と砂州で営まれた茶園景観復元において、園路の整備や給排水設置を行った。浸透桝工事･暗渠排水工事等により、雨水排水流出を抑え、排水･水はけ問題の改善に導く。

進捗状況　*※計画年次との対応*	実施･検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

（令和元年8月）

進捗評価シート　（様式1-3）

評価軸③-8
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度	令和元年度
項目	現在の状況
観光サイン等整備事業	□実施済 ■実施中 □未着手

事業期間	平成29年度～令和2年度
支援事業名	社会資本整備総合交付金（都市再生整備計画事業）
計画に記載している内容	宇治市観光振興計画に基づき、国内外からの観光客が歴史･文化資源や歴史的まちなみ等を回遊しやすい環境を整備するため、観光サインや観光トイレの再整備を行う。

定性的･定量的評価（自由記述）　*※定量的評価は可能な範囲で*

宇治市観光案内サイン整備ガイドラインに基づき、JR宇治駅前に新設1基、撤去5基の対応を行った。
宇治神社前トイレの改修工事（洋式化、バリアフリー化等）を行った。

進捗状況　*※計画年次との対応*	実施･検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
□計画どおり進捗している ■計画どおり進捗していない	補助事業に基づく財政措置を行っており、国･府補助金の動向により整備の進捗に影響がある。

状況を示す写真や資料等

観光案内サインの新設（令和2年3月）

観光トイレの改修（令和2年3月）

進捗評価シート　（様式1-3）

評価軸③-9
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度	令和元年度
項目	現在の状況
建物修景助成事業	□実施済 ■実施中 □未着手

事業期間	平成22年度 ～
支援事業名	市単独事業、社会資本整備総合交付金
計画に記載している内容	歴史ある沿道景観の保全と形成を促進し、賑わいと風情あるまちづくりが推進される。

定性的･定量的評価（自由記述）　*※定量的評価は可能な範囲で*

本市は、特に景観に配慮すべき宇治市景観計画重点区域内の景観重要公共施設（道路）の一部沿道において、良好な景観の形成に著しく寄与すると認められる建築物、工作物、その他（設計費等）について、助成を行うこととしており、令和元年度の申請は1件である。

【定量的評価】
景観形成助成の件数　：　申請件数　1件
（参考）30年度　　：　申請件数　2件

進捗状況　*※計画年次との対応*	実施･検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

修景前（平成29年10月）

修景後（令和2年1月）

進捗評価シート　（様式1-3）

評価軸③-10
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度	令和元年度
項目	現在の状況
屋外広告物助成事業	□実施済 ■実施中 □未着手

事業期間	平成22年度 ～
支援事業名	市単独事業
計画に記載している内容	景観阻害要因の減少とともに、歴史的な町並みと調和した賑わいと風情あるまちづくりが推進される。

定性的･定量的評価（自由記述）　*※定量的評価は可能な範囲で*

本市は、宇治市景観計画重点区域内において、良好な景観の形成に著しく寄与する屋外広告物の整備に対して助成を行うこととしているが、令和元年度の申請は0件であった。

【定量的評価】
景観形成助成の件数　：　申請件数　0件
（参考）30年度　　：　申請件数　1件

進捗状況　*※計画年次との対応*	実施･検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

（参考）平成30年度の景観助成で整備された箇所

進捗評価シート　（様式1-3）

評価軸③-11
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度	令和元年度
項目	現在の状況
宇治茶園支援事業	□実施済 ■実施中 □未着手

事業期間	平成23年度　～
支援事業名	市単独事業
計画に記載している内容	減少傾向にある宇治市域の茶園の維持･拡大を進めることや、伝統的栽培方法を推奨することで、生産者の経済的負担軽減と活動意欲を支える。

定性的･定量的評価（自由記述）　*※定量的評価は可能な範囲で*

高品質な宇治茶の生産を促進する事業として、宇治茶の伝統的茶製法である「ほんず」による生産を支援する「伝統技術継承対策」支援事業を行うとともに、茶摘み時期に必要な「お茶摘みさん」の斡旋を支援する「手摘み茶推進対策」支援事業を行い、宇治独特の茶園景観の形成に寄与した。

【定量的評価】
伝統技術継承対策事業の実施件数　：　15件（247．2a）
「ほんず」による生産は非常に手間暇がかかり、生産省力化である寒冷紗による生産に移行する状況の中、実施件数は平成28年度18件（323．9a）、平成29年度19件（320．9a）、平成30年度17件（309．7a）と推移している。本事業による実施面積は、年度ごとの申請内容により増減があるものの、実施件数は近年横ばいで推移しており、ほんず栽培の保存や技術継承に効果を発揮していると評価できる。
手摘み茶推進対策の実施件数　　：　31件
手摘みを継続していくためには摘み子の確保が必須であるが、年々確保するのが厳しい状況であり、平成27年度から平成30年までは実施件数が32件で推移している。手摘みを継承していきたい茶業者の支えとなっており、手摘み茶の推進の効果を発揮していると評価できる。

進捗状況　*※計画年次との対応*	実施･検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

伝統技術継承対策事業により支援が行われた
「ほんず」と呼ばれる覆下茶園の栽培状況

手摘み茶推進対策事業により実施された
「お茶摘みさん」を募集するチラシ

進捗評価シート　（様式1-3）

評価軸③-12
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度	令和元年度
項目	現在の状況
宇治茶品質向上事業	□実施済 ■実施中 □未着手

事業期間	平成23年度　～
支援事業名	市単独事業
計画に記載している内容	品質向上への意欲増進や栽培･生産技術の向上が図られる。また担い手育成に取り組むことにより、生業の維持が図られる。

定性的･定量的評価（自由記述）　*※定量的評価は可能な範囲で*

6月13日に宇治市で開催した宇治市茶品評会、8月6日から京都府で開催された関西茶品評会、8月27日から愛知県で開催された全国茶品評会（式典は11月16日に開催）への出品の支援を実施した。
茶品評会への出品を推奨することで、生産者の生産意欲を高めるとともに宇治茶の伝統的茶製法の継承につながった。

【定量的評価】
茶品評会出品数／入賞数　：　121点／55点受賞

進捗状況　*※計画年次との対応*	実施･検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

全国茶品評会
（令和元年11月16日）

宇治市茶品評会
（令和元年6月13日）

品評会の実施状況

	第73回全国茶品評会	第72回関西茶品評会	第52回宇治市茶品評会
出品数	42	45	34
優等数			2
1等賞	4	2	3
2等賞	7	11	3
3等賞	9	10	4
農林水産大臣賞	なし	なし	
産地賞	受賞	なし	

進捗評価シート　（様式1-3）

評価軸③-13
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度	令和元年度
項目	現在の状況
宇治茶普及啓発事業	□実施済 ■実施中 □未着手

事業期間	平成23年度　～
支援事業名	市単独事業
計画に記載している内容	市民や来訪者が宇治茶に親しみ、宇治茶を理解することは、お茶のまち宇治の歴史的風致の維持向上に寄与する。

定性的･定量的評価（自由記述）　*※定量的評価は可能な範囲で*

5月12日開催した市民茶摘みのつどいや10月6日に宇治川河畔一帯で開催された「宇治茶まつり」、「市民素人茶香服大会」等への支援を実施したことにより、多数の市民や来訪者に宇治茶への親しみや理解を深めることに寄与した。

【定量的評価】
「市民茶摘みのつどい」の参加者数：　約200人
平成29年度には約500人の参加があった(平成30年度は雨天中止）ものの、令和元年度は同じくお茶摘みを体験できる八十八夜茶摘みの集いが5月2日の祝日に開催されたため、参加者数は伸びなかったが、市民に広く浸透している事業であり、茶摘みという体験を通して、宇治茶への親しみや理解を深める効果があるものと評価できる。
「宇治茶まつり」の参加者数　　：　約41，500人　（宇治茶まつり消費イベントと併催）
各年度ごとに、複数の事業を同時開催しているもので、年度ごとの比較はできないが、令和元年度においても約41，500人の参加があり、市民や来訪者への宇治茶の普及啓発に効果があるものと評価できる。
「市民素人茶香服大会」の参加者数：　約60人
平成27年度約100人、平成28年度及び29年度は約80人、平成30年度及び令和元年度は約60人の参加があり、宇治茶への親しみや理解を深める効果があるとともに、茶香服という独自文化を認識させる効果があるものと評価できる。

進捗状況　*※計画年次との対応*	実施･検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

市民素人茶香服大会の開催状況
（令和元年10月6日）

宇治茶まつりの開催状況
（令和元年10月6日）

進捗評価シート　（様式1-3）

評価軸③-14
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度	令和元年度
項目	現在の状況
市営茶室対鳳庵活用事業	□実施済 ■実施中 □未着手

事業期間	平成23年度　～
支援事業名	市単独事業
計画に記載している内容	茶文化を体験できる機会を提供することは、市民や来訪者に宇治茶の品質や、茶業全般への関心や理解を促すことにつながる。

定性的･定量的評価（自由記述） *※定量的評価は可能な範囲で*

本格的数奇屋建築の市営茶室「対鳳庵」において、表千家･裏千家･山荘流の3流派による抹茶や、小川流、二条流、瑞芳菴流、方円流の4流派による煎茶の本格的なお点前の実施により、茶文化の体験できる機会の創出とお茶への関心や理解を促す場を提供することができた。

なお、平成26年4月より従来の抹茶の薄茶、煎茶のみのメニューから濃茶と薄茶、玉露と煎茶のセットメニュー及びお点前体験のメニューを追加することにより、利用者の増加や満足度を高める取り組みを行っている。

【定量的評価】
市営茶室でお茶席の利用者数　：　18，782人
（参考）30年度　：　23，554人

進捗状況 *※計画年次との対応*	実施･検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

茶の湯の用意ができていることを知らせる“在釜”の札をかかげる市営茶室対鳳庵の露地門

本席（三畳向切）において抹茶点前で喫茶の様子

■対鳳庵　入席者数

	入席者数	うち外国人
H24年度	16,302人	4,889人
H25年度	14,259人	4,259人
H26年度	22,335人	6,059人
H27年度	21,632人	7,198人
H28年度	21,329人	8,442人
H29年度	24,800人	11,803人
H30年度	23,354人	11,858人
R 1年度	18,782人	10,930人

■対鳳庵　新メニュー実績

	濃･薄セット	玉露	玉･煎セット	お点前体験
H26年度	248人	2人	2人	345人
H27年度	118人	20人	5人	885人
H28年度	181人	9人	6人	913人
H29年度	134人	9人	0人	1,026人
H30年度	106人	22人	27人	954人
R 1年度	143人	23人	7人	1,191人

※令和元年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、3月は休席となった。

進捗評価シート　（様式1-3）

評価軸③-15
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度	令和元年度
項目	現在の状況
宇治川鵜飼助成事業	□実施済 ■実施中 □未着手

事業期間	平成23年度　～
支援事業名	市単独事業
計画に記載している内容	平安貴族の宇治川見物のひとつであった宇治川の鵜飼は、鎌倉時代に禁止されたのち、昭和初年に復活し、以降宇治川の夏の風物詩として定着している。多くの来訪者を楽しませる鵜飼を継承する。

定性的･定量的評価（自由記述）　*※定量的評価は可能な範囲で*

鵜飼事業の実施に支援し、7月1日（日）から9月30日（日）までの出船期間中に乗り合い船、ツアー団体、貸しきり船などで約2，635人の乗船があったが、宇治川の改修に伴い川の水量が増加する日が多く営業日数が大幅に減り開催期間のおよそ半分の営業になった。一方で、放ち鵜飼プロジェクトについてクラウドファンディングで支援を募り、一部の支援者を対象に特別内覧会を実施するなど放ち鵜飼実施に向けて積極的に活動し、宇治川での伝統行事として歴史的風致の維持向上に寄与した。

【定量的評価】
鵜飼船乗船者数：約2，635人（増水･台風のため53日間の臨時休業があり、39日間の営業実施であった。）
（参考）30年度　：約4，325人（増水･台風のため43日間の臨時休業があり、49日間の営業実施であった。）

≪うみうのウッティー　孵化･成長≫
平成26年･･･1羽　平成27年･･･2羽　平成28年･･･2羽　平成29年･･･4羽　平成30年･･･0羽　令和元年…2羽

進捗状況　*※計画年次との対応*	実施･検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	今後、さらなる集客に向けて放ち鵜飼の検討を行っている。

状況を示す写真や資料等

■鵜飼の様子

■鵜のヒナ

	営業期間			期間日数（日）	休業日数（日）	営業日数（日）	乗船人数（人）	（内乗合人数）	1日平均（人）
H25年度	6月15日	～	9月23日	101	18	83	6,700	4,700	80
H26年度	6月15日	～	9月21日	99	23	76	6,970	4,520	91
H27年度	6月14日	～	9月23日	102	40	62	7,060	3,670	114
H28年度	7月1日	～	9月30日	92	13	79	6,920	3,570	88
H29年度	7月1日	～	9月30日	92	17	75	6,390	3,470	86
H30年度	7月1日	～	9月30日	92	43	49	4,325	1,965	89
R 1年度	7月1日	～	9月30日	92	53	39	2,635	1,670	68

■うみうのウッティー
平成26年6月29日、宇治川の鵜飼で飼育されているウミウに初めてのヒナが誕生しました。
ウミウは警戒心が強いため、飼育されているウミウの産卵及びふ化は日本で初めてのことです。
このヒナはウッティーと名付けられ、鵜飼デビューを果たし活躍しています。
現在までに11羽のウッティーが誕生しています。

進捗評価シート　（様式1-3）

評価軸③-16

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度	令和元年度
項目	現在の状況
宇治十帖スタンプラリー開催	□実施済 ■実施中 □未着手

事業期間	平成23年度　～
支援事業名	市単独事業
計画に記載している内容	近世から親しまれる宇治の遊覧の1つ『源氏物語』宇治十帖めぐりを定期的に設けることにより、多くの人に宇治川河畔の歴史的風致に触れる機会が創出される

定性的・定量的評価（自由記述）　*※定量的評価は可能な範囲で*

晩秋の宇治の風情を楽しみながら源氏物語宇治十帖ゆかりの地などを巡るスタンプラリーを4日間（10月26・27日、11月2・3日）開催し、宇治の歴史的風致に触れる機会が創出された。
昨年同様、宇治市宣伝大使「ちはや姫」とご当地キャラクター「チャチャ王国のおうじちゃま」が参加するゆるきゃら（R）ポイントを設け事業を盛り上げた。
【定量的評価】
スタンプラリー参加者数：12，008人

進捗状況　*※計画年次との対応*	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

第29回スタンプ帳

当日の様子

	開催日数	参加者人数
H25年度	5	16,598人
H26年度	5	17,176人
H27年度	5	17,744人
H28年度	5	17,503人
H29年度	5（内1日中止）	12,674人
H30年度	4	13,146人
R 1年度	4	12,008人

■宇治十帖スタンプラリー参加者

進捗評価シート　（様式1-3）

評価軸③-17
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度	令和元年度
項目	現在の状況
京都･宇治灯り絵巻の開催	□実施済 ■実施中 □未着手

事業期間	平成23年度　～
支援事業名	府･市連携事業
計画に記載している内容	かつては宇治川の蛍狩りが夏の夜の風物詩として、多くの来訪者で賑わいを見せた。現在宇治川で蛍を見ることはできないが、夜に宇治川河畔を散策する機会を設けることで、かつてのような賑わいの創出につながる。

定性的･定量的評価（自由記述）　*※定量的評価は可能な範囲で*

宇治川の鵜飼、植物公園の蛍ナイター、三室戸寺のライトアップや宇治市観光協会の会員13店舗等による行燈の掲出･点灯を継続して実施し、計画に記載している「夜に宇治川河畔を散策する機会を設けることで、かつてのような夜の賑わいの創出につながる。」という一定の効果が発現した。また、今年度より京都府と連携し、「京都･花灯路」のコンセプトと源氏物語宇治十帖をテーマにした「宇治灯り絵巻灯籠」を融合し、宇治の街並みに似合う宇治情緒豊かな陰影のある灯りの路を連結する事業を企画し、実施することとした。3月に予定していた今年度のイベントについては、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から延期となった。

進捗状況　*※計画年次との対応*	実施･検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
□計画どおり進捗している ■計画どおり進捗していない	次年度以降も継続し、イベント等に合わせた灯りの演出と、京都府と連携した「京都･花灯路」連携周遊事業にも引き続き取り組む。

状況を示す写真や資料等

■京都･宇治灯り絵巻のイメージ写真

進捗評価シート　（様式1-3）

評価軸③-18
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度	令和元年度
項目	現在の状況
文化財見学会	□実施済 ■実施中 □未着手

事業期間	平成２３年度　～
支援事業名	市単独事業
計画に記載している内容	小学生を対象にした文化財の普及･啓発活動は、郷土の歴史と身近な文化財への理解を促すとともに、ふるさと宇治に愛着と誇りを持ち、地域の伝統文化の継承への意識を高めることにもつながるため、次世代へと引き継ぐべき歴史的風致の維持向上に寄与するものである。

定性的･定量的評価（自由記述）　*※定量的評価は可能な範囲で*

・春の庵寺山古墳の一般公開　　令和元年　５月２５日（土）　１０：００～１５：００　　約８０人
・秋の庵寺山古墳の一般公開　　令和元年１０月２５日（土）　１０：００～１５：００　　約５０人
・第２８回小中学生の文化財見学会　　令和元年１２月　７日（土）　　９：３０～１２：００　　５０人
　今回の見学会は、重要文化財松殿山荘の見学をした。文化財見学会終了後の感想文コンクールでは5本の作文が寄せられた。

進捗状況　*※計画年次との対応*	実施･検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

庵寺山一般公開　（令和元年5月25日）

文化財見学会　（令和元年12月7日）

進捗評価シート　（様式1-3）

評価軸③-19
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度	令和元年度
項目	現在の状況
歴史・文化啓発事業	□実施済 ■実施中 □未着手

事業期間	平成２３年度　～
支援事業名	文化的景観保護推進事業国庫補助、市単独事業
計画に記載している内容	多くの市民を対象にした歴史・文化の啓発活動は、郷土の歴史と身近な文化財への理解を促すとともに、ふるさと宇治に愛着と誇りを持ち、地域の伝統文化の継承への意識を高めることにもつながる。

定性的・定量的評価（自由記述）　*※定量的評価は可能な範囲で*

○「宇治学」（総合的な学習の時間）での探究的・協働的学習をより効果的に実施するため、「宇治学」副読本・指導の手引きを作成配付
【定量的評価】
○7学年（小学校3年～中学校3年）分の「宇治学」副読本が揃い、全学年での活用スタート　○活用充実のための「公開授業講座（第5学年）」の実施　　○「宇治学」副読本（第6学年）の改訂版を市内小学校22校に配付　　○小学校から積み上げてきた「宇治学」の集大成として、中学第3学年では「ふるさと宇治」をより良くすることをテーマに、各所へのインタビュー等を行い、本市への提言【企画提案書（プレゼン）づくり】を実施する。これらの体験活動をとおして、ふるさとに対する関心を高め、本市への愛着心を醸成している。

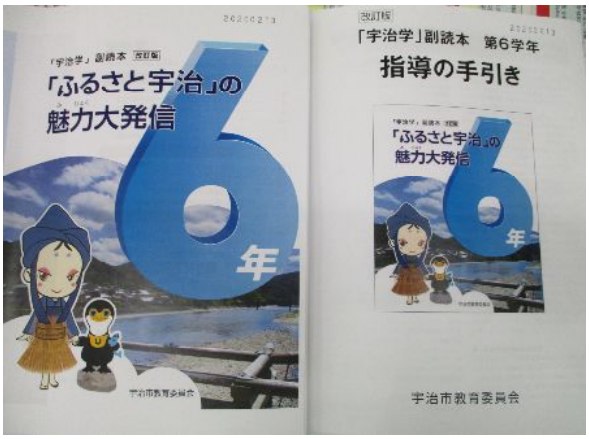
進捗状況　*※計画年次との対応*	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

市役所インタビュー（令和元年１２月５日）

企画提案書プレゼン（令和元年１２月１５日）

公開授業講座（令和２年２月１８日）



改訂版副読本の発刊（令和２年３月）

進捗評価シート　（様式1-3）

評価軸③-20
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度	令和元年度
項目	現在の状況
文化的景観整備計画策定調査	□実施済 ■実施中 □未着手

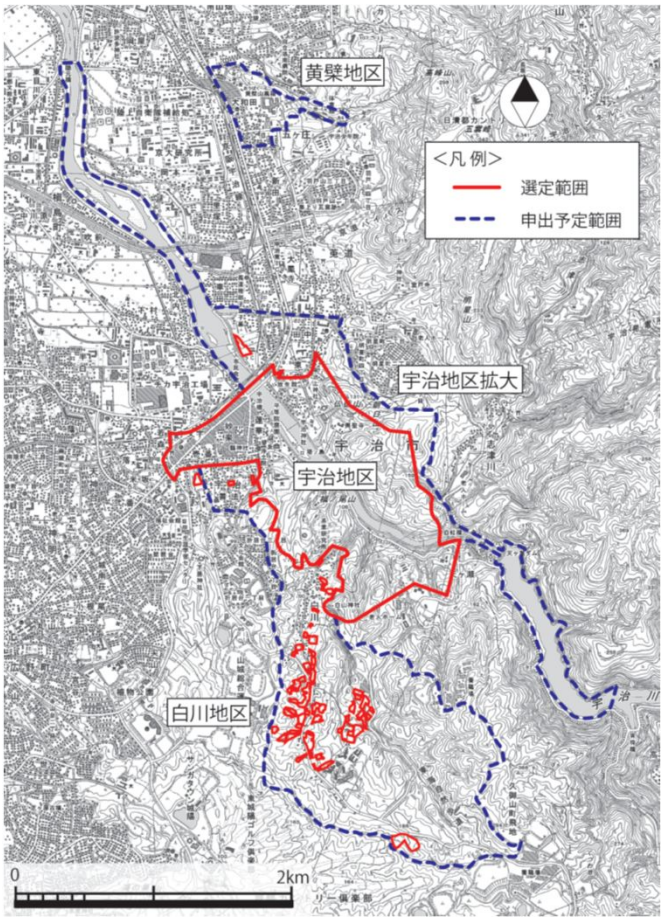
事業期間	～　令和3年度
支援事業名	文化的景観保護推進事業国庫補助
計画に記載している内容	地域の自然･歴史･社会的文脈を保全しつつ、次世代のまちづくりを考える文化的景観の保護の取組は、歴史的風致の維持向上と密接に関わるものであり、整備計画において、重要構成要素に特定された物件を対象に、所有者等の協力を得て宇治地区の街区構造の継承や茶業関係の家屋の修景など整備活用の具体的検討を行う。

定性的･定量的評価（自由記述）　*※定量的評価は可能な範囲で*

景観重要構成要素の建物に、清水家住宅、寺川家土蔵、御菓子司能登掾稲房安兼、茶房あじろの計4件の追加申出をした。

進捗状況　*※計画年次との対応*	実施･検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	重要構成要素の拡大については、世代交代により建物を維持していくことに関して見通すことができないという所有者も多く、特に民家の保存についての問題が浮かび上がったが、要望している所有者もあることから、順次要望しているところから拡大していく。

状況を示す写真や資料等



重要構成要素追加建物

寺川家土蔵　（平成28年12月）

茶房あじろ　（平成28年7月）

進捗評価シート　（様式1-3）

評価軸③-21
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度	令和元年度
項目	現在の状況
観光交通対策検討調査	□実施済 ■実施中 □未着手

事業期間	平成２５年度～
支援事業名	市単独事業
計画に記載している内容	観光シーズンになると自家用車が重点区域に集中し、来訪者で賑わう狭隘な道路での安全性の確保や、近年増加している自転車の来訪者への対策が講じられておらず、宇治の風情を損なうことがある。このような交通問題対策として、来訪時と来訪中の移動について総合的に対策を検討し、計画に基づき、様々な事業をパッケージ的に実施することにより、歴史的風致の維持向上を図る。

定性的･定量的評価（自由記述）　*※定量的評価は可能な範囲で*

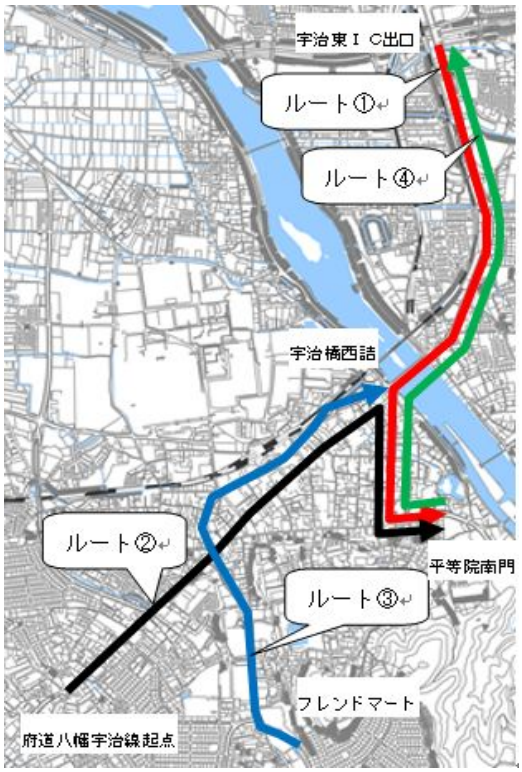
【令和元年度】
平成27年度から実施している周辺駐車場の情報発信や現地での誘導等による効果を確認するため、ゴールデンウィークにおける車での旅行時間の調査を実施した。
旅行時間について過年度と比較すると、平等院南門方面へ向かうルート（ルート①、②）と宇治橋西詰に向かうルート（ルート③）では、昨年より若干であるが短縮ができ、平等院南門から帰るルート（ルート④）では、昨年より若干であるが延長が確認でき、県通り周辺の駐車場の出入り等が渋滞に影響している可能性が考えられる。

【今後の予定】
宇治市観光振興計画のアクションプランに基づき、市役所駐車場の開放等の臨時駐車場の開設や、道路の迂回･誘導の案内設置等の事業を実施しており、それらによる交通量の変動を確認するための調査を行います。

進捗状況　*※計画年次との対応*	実施･検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	･宇治の風情を損なわないよう、観光交通の対策として、駐車場の情報発信や現地の誘導等を実施している。 ･旅行時間調査における目標値の設定については、天候や様々なイベント等の実施により交通量が変動するので難しいが、数年間調査を継続し統計を取ることで、一定観光交通対策の効果が確認できるのではないかと考えており、調査結果が出た段階で実施している対策の検証を行っていく。

状況を示す写真や資料等

旅行時間の調査（ルート①～④にて実施：4ルート）



令和元年5月4日
旅行時間調査の状況

進捗評価シート　（様式1-3）

評価軸③-22

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度	令和元年度
項目	現在の状況
空き町家の活用検討調査	□実施済 ■実施中 □未着手

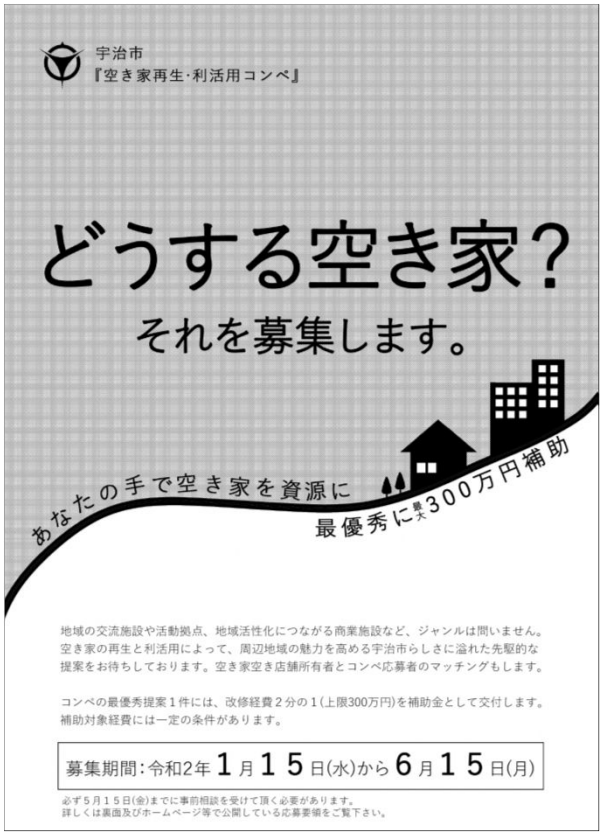
事業期間	平成27年度～
支援事業名	市単独事業
計画に記載している内容	伝統的木造家屋を活用することは、賑わいと風情ある町並みの継承につながる。

定性的・定量的評価（自由記述）　*※定量的評価は可能な範囲で*

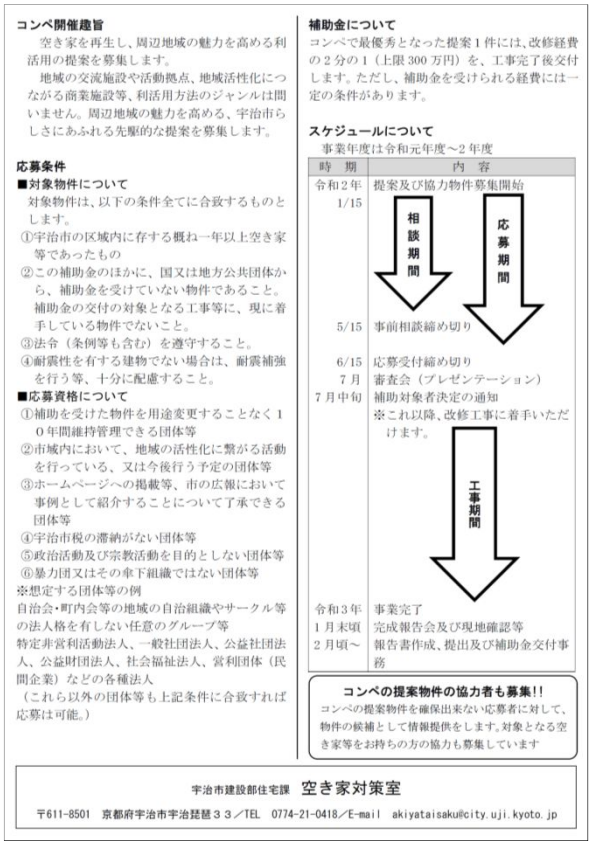
令和元年度は、平成28年度に実施した「中宇治地区に残る伝統的木造家屋の空き家調査」の再調査を行うとともに、調査結果について空き家対策担当部署との情報共有を行った。また、平成30年度末に策定した「宇治市空き家等対策計画」に基づき、空き家の利活用施策として実施している「空き家の再生・利活用コンペ」の募集を行った。

進捗状況　*※計画年次との対応*	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	市内では空き町家を含め空き家が増加しつつあり、その中には適正に管理されず、地域の生活環境の悪化につながっているものも見受けられる。 そのような状況を踏まえ、30年度末に策定した宇治市空き家等対策計画に基づき、今後、空き家の所有者等が適正に管理できるよう各種の支援施策を実施する。 既に実施している景観形成助成金制度では、空き町家の利活用の促進へと繋げることを引き続き検討していく。

状況を示す写真や資料等



「空き家再生・利活用コンペ」のチラシ



コンペ開催趣旨

空き家を再生し、周辺地域の魅力を高める利活用の提案を募集します。

地域の交流施設や活動拠点、地域活性化につながる商業施設等、利活用方法のジャンルは問いません。周辺地域の魅力を高める、宇治市らしさにあふれる先駆的な提案を募集します。

応募条件

■対象物件について

対象物件は、以下の条件全てに合致するものとします。

①宇治市の区域内に存する概ね一年以上空き家等であったもの

②この補助金のほかに、国又は地方公共団体から、補助金を受けていない物件であること。補助金の交付の対象となる工事等に、現に着手している物件でないこと。

③法令（条例等も含む）を遵守すること。

④耐震性を有する建物でない場合は、耐震補強を行う等、十分に配慮すること。

■応募資格について

①補助を受けた物件を用途変更することなく１０年間維持管理できる団体等

②市域内において、地域の活性化に繋がる活動を行っている、又は今後行う予定の団体等

③ホームページへの掲載等、市の広報において事例として紹介することについて了承できる団体等

④宇治市税の滞納がない団体等

⑤政治活動及び宗教活動を目的としない団体等

⑥暴力団又はその傘下組織ではない団体等

※想定する団体等の例

自治会・町内会等の地域の自治組織やサークル等の法人格を有しない任意のグループ等

特定非営利活動法人、一般社団法人、公益社団法人、公益財団法人、社会福祉法人、営利団体（民間企業）などの各種法人

（これら以外の団体等も上記条件に合致すれば応募は可能。）

補助金について

コンペで最優秀となった提案１件には、改修経費の２分の１（上限300万円）を、工事完了後交付します。ただし、補助金を受けられる経費には一定の条件があります。

スケジュールについて

事業年度は令和元年度～２年度

時　期	内　容
令和２年	提案及び協力物件募集開始
1/15	相談期間 ↓　応募期間 ↓
5/15	事前相談締め切り
6/15	応募受付締め切り
７月	審査会（プレゼンテーション）
７月中旬	補助対象者決定の通知 ※これ以降、改修工事に着手いただけます。 工事期間 ↓
令和３年	事業完了
１月末頃	完成報告会及び現地確認等
２月頃～	報告書作成、提出及び補助金交付事務

コンペの提案物件の協力者も募集!!

コンペの提案物件を確保出来ない応募者に対して、物件の候補として情報提供をします。対象となる空き家等をお持ちの方の協力も募集しています

宇治市建設部住宅課　空き家対策室

〒611-8501　京都府宇治市宇治琵琶３３／TEL　0774-21-0418／E-mail　akiyataisaku@city.uji.kyoto.jp

進捗評価シート　（様式1-3）

評価軸③-23
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度	令和元年度
項目	現在の状況
観光周遊道路の整備検討調査	□実施済 ■実施中 □未着手

事業期間	平成28年度～
支援事業名	市単独事業
計画に記載している内容	来訪者が歴史に触れながら散策できる快適な道路空間を確保することにより、宇治川周辺の回遊性の向上につながるため、歴史的風致の維持向上に寄与する。

定性的･定量的評価（自由記述）　*※定量的評価は可能な範囲で*

令和元年度は、文化財や周辺の歴史的なまち並みと一体となった宇治にふさわしい景観形成を図るため、市道宇治228号線の無電柱化の詳細設計を実施するなかで、沿道の道路景観の改善について検討した。

進捗状況　*※計画年次との対応*	実施･検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

【位置図】

無電柱化に取り組むことで伝統的な沿道景観との調和や道路景観の改善を図る。

【現在】（平成30年1月）

【整備後イメージ】

進捗評価シート　（様式1-4）

評価軸④-1
文化財の保存又は活用に関する事項

評価対象年度	令和元年度
項目	現在の状況
文化財の修理（整備を含む）	□実施済 ■実施中 □未着手

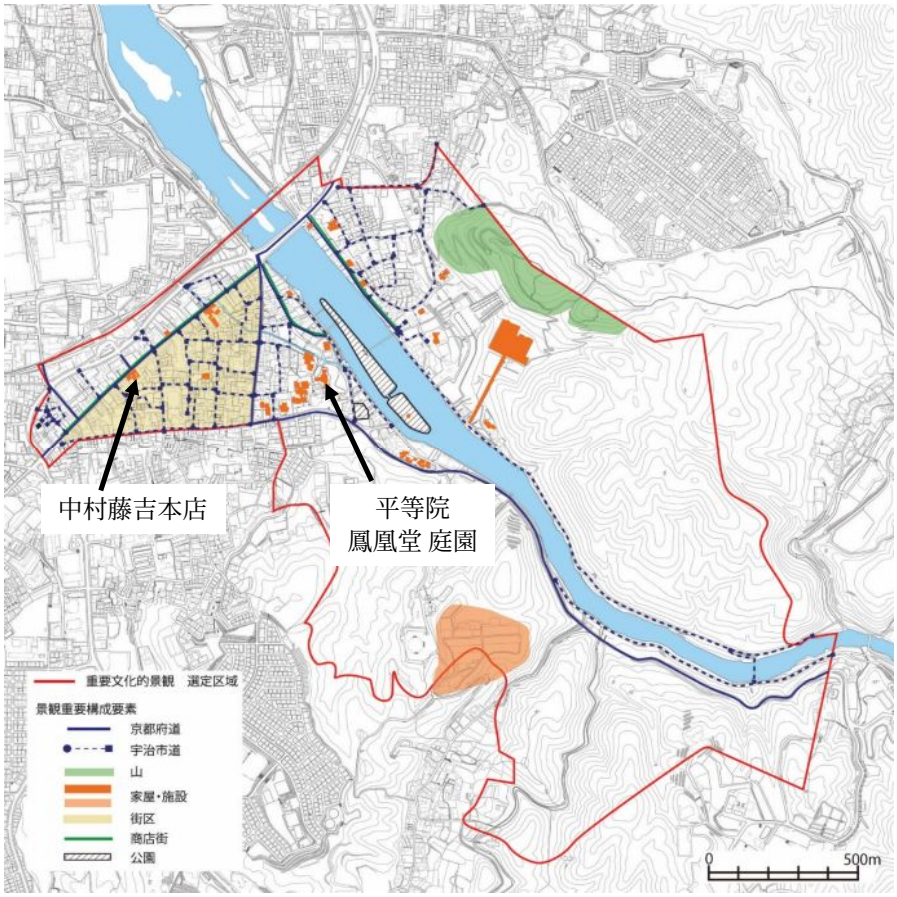
計画に記載している内容	（1）国宝・重要文化財建造物 宇治上神社本殿・拝殿（国宝）は、前回の屋根葺替から拝殿は35年、本殿は30年が経過して檜皮の傷みが顕著になっており、このため国庫補助事業による屋根葺替修理が計画されている。 （2）重要文化的景観 重要構成要素の家屋の修理・修景は、国の補助金の充当を可能とする市の分担金条例に基づき、文化的景観保存活用事業として進めている。

定性的・定量的評価（自由記述）　*※定量的評価は可能な範囲で*

（1）国宝・重要文化財建造物
国宝宇治上神社の修理は平成26年度完了。令和元年度は、国宝平等院鳳凰堂保存修理、平等院庭園修理が行われた。
（2）重要文化的景観
令和元年度は景観重要構成要素の届出建物修理修景事業(中村藤吉本店）への補助を実施した。

進捗状況　*※計画年次との対応*	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	重要文化的景観の補助制度が平成28年度に変更となり、補助金に市の負担が入ることとなったため、市の予算によって事業量が制限される。重要構成要素の家屋は、多くが個人所有であるため、事業計画から事業実施まで綿密にコントロールする必要がある。

状況を示す写真や資料等



宇治の文化的景観　修理箇所位置図

進捗評価シート　（様式1-4）

評価軸④-2
文化財の保存又は活用に関する事項

評価対象年度	令和元年度
項目	現在の状況
文化財の防災	□実施済 ■実施中 □未着手

計画に記載している内容	平成20年に発足した「宇治市文化財まもり隊」の活動は、文化財に対する保護意識高揚と地域の自主防災活動を促し、火災予防の徹底と災害が発生した場合の被害軽減を図っている。

定性的･定量的評価（自由記述）　*※定量的評価は可能な範囲で*

文化財まもり隊は、自主消防隊を持つ平等院と、5年前に指定された恵心院以外の指定建造物に対して結成されている。令和元年度の文化財防火デーに宇治上神社にて文化財防火研究会を行い、宇治上神社の消防用設備を視察したほか、防火懇談会（下記写真参照）では、市の文化財担当部局職員による文化財補助事業についての制度説明等を行い、その後文化財の防災についての意見交換を行った。なお、消防訓練は天候不良により中止した。

また、平成27年の宇治上神社の汚損事件においては、最初に市の文化財担当部局に連絡があり、市から警察･京都府に連絡を行ったように、文化財所有者と密に連絡を取る体制を作っている。

進捗状況　*※計画年次との対応*	実施･検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

防火懇談会の様子　（令和2年1月28日）

進捗評価シート　（様式1-4）

評価軸④-3
文化財の保存又は活用に関する事項

評価対象年度	令和元年度
項目	現在の状況
文化財の保存及び活用の普及･啓発	□実施済 ■実施中 □未着手

計画に記載している内容	文化財に親しんでもらうことを目的とした市指定史跡庵寺山古墳の公開や小中学生を対象にした文化財見学会、発掘調査報告会、文化的景観フォーラム等を行っており、これらの活動や行事を通じて文化財保護の普及啓発に努める。

定性的･定量的評価（自由記述）　*※定量的評価は可能な範囲で*

・春の庵寺山古墳の一般公開　令和元年　５月２５日（土）　１０：００～１５：００　約８０人
・秋の庵寺山古墳の一般公開　令和元年１０月２５日（土）　１０：００～１５：００　約５０人
・第２８回小中学生の文化財見学会　令和元年１２月　７日（土）　９：３０～１２：００　５０人

庵寺山古墳の一般公開（春・秋）では、古墳の見学のほか勾玉作りを行っており、多くの小学生が参加し、盛況を見せた。

進捗状況　*※計画年次との対応*	実施･検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	勾玉作りは、小学生などに人気があるが、別の体験メニューも増やす必要がある。

状況を示す写真や資料等

小中学生の文化財見学会　松殿山荘　（令和元年12月7日）

進捗評価シート　（様式1-4）

評価軸④-4
文化財の保存又は活用に関する事項

評価対象年度	令和元年度
項目	現在の状況
埋蔵文化財の取扱い	□実施済 ■実施中 □未着手

計画に記載している内容	重点区域内には「宇治市街遺跡」、「平等院旧境内遺跡」、「白川金色院跡」、「宇治川太閤堤跡」等の埋蔵文化財包蔵地があり、整備や活用に反映させることとする。

定性的･定量的評価（自由記述）　*※定量的評価は可能な範囲で*

史跡公園として整備を進めている史跡宇治川太閤堤跡では遺構復元の一環として、再現遺構の着色工事を実施しました。

進捗状況　*※計画年次との対応*	実施･検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

再現遺構の着色工事の様子　（令和元年9月）

進捗評価シート　（様式1-4）

評価軸④-5
文化財の保存又は活用に関する事項

評価対象年度	令和元年度
項目	現在の状況
文化財の保存･活用に関わる住民･NPO等の各種団体の状況及び今後の体制整備	□実施済 ■実施中 □未着手

計画に記載している内容	お茶どころ宇治の個性を磨くため、宇治茶園の覆下栽培を維持･拡大するための支援事業、宇治茶製法技術保存会への助成事業、「宇治茶まつり」などの実施団体への助成事業など、宇治茶の品質向上･普及に努める農家や団体等への各種支援を実施する。

定性的･定量的評価（自由記述）　*※定量的評価は可能な範囲で*

高品質な宇治茶の生産を促進する高品質茶推進事業として、宇治茶の伝統的茶製法である「ほんず」による生産を支援する「伝統技術継承対策」支援事業を行うとともに、茶摘み時期に必要な「お茶摘みさん」の斡旋を支援する「手摘み茶推進対策」支援事業を行った。
また、10月6日に宇治川川畔一帯で開催された「宇治茶まつり」、「市民素人茶香服大会」等への支援を実施したことにより、多数の市民や来訪者に宇治茶への親しみや理解を深めることに寄与した。

【定量的評価】
「伝統技術継承対策」支援事業の実施件数　：　15件（282.5a）
「手摘み茶推進対策」の実施件数　：　31件
「宇治茶まつり」の参加者数　：　約41,500人
「市民素人茶香服大会」の参加者数　：　約60人

進捗状況　*※計画年次との対応*	実施･検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

伝統技術継承対策支援事業により支援が行われた
「ほんず」と呼ばれる覆下茶園の栽培状況

進捗評価シート　（様式1-5）

評価軸⑤-1

効果・影響等に関する報道

評価対象年度	令和元年度

報道等タイトル	年月日	掲載紙等
馳せ馬　雨吹き飛ばす　災厄封じ宇治川へ	令和元年6月9日	洛タイ新報

定性的・定量的評価（自由記述）　*※定量的評価は可能な範囲で*

宇治市の維持向上すべき歴史的風致には「遊覧と参詣」「茶どころ宇治」「宇治に伝わる祭礼」の3つを挙げている。

「宇治に伝わる祭礼」の歴史的風致として、市の無形民俗文化財第1号（2012年指定）であり伝統的な行事である「大幣神事」が報道された。古式の装束を身に着け中世以来の祭具を持った大幣の行列が巡行する様子は、宇治で数百年にわたって培われ積み重なってきた歴史の厚みがまちなかに放散されるような風情と賑わいを伝えている。

進捗状況　*※計画年次との対応*	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
□計画の進捗に影響あり ■計画の進捗に影響なし	

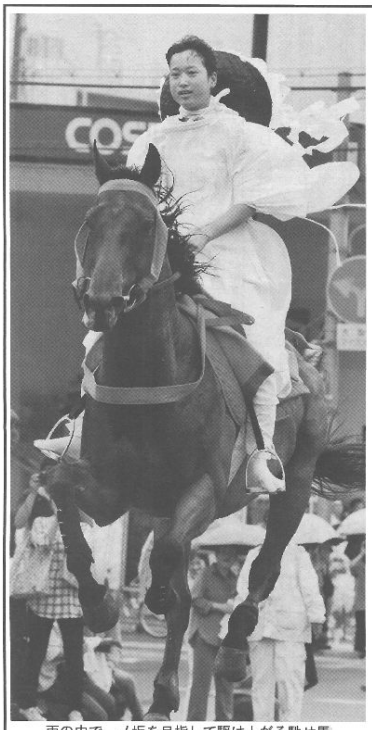
状況を示す写真や資料等

馳せ馬　雨吹き飛ばす

県神社大幣神事　災厄封じ宇治川へ

県神社（田鍬到一宮司）の大幣神事が8日、中宇治地域を中心に行われた。古式ゆかしい伝統装束に身を包んだ一行が市街地を練り歩いたり、勇壮な馳せ馬が観衆を沸かせたりし、宇治のまちの初夏を彩った。

県神社大幣殿を目指して本町通りを練り歩く一行



雨の中で一ノ坂を目指して駆け上がる馳せ馬

古式ゆかしい行列には子供たちも伝統装束で参加

中世から伝わる「大幣神事」は、旧久世郡宇治郷のまちを疫病から守り、商売繁盛や五穀豊穣を願う神事として受け継がれてきた市の無形民俗文化財。

騎馬神人や裃（かみしも）姿のお供ら一行約80人は、3つの黄色い笠や御幣で飾られた大幣とともに県神社大幣殿前を出発し、県通り、宇治橋通り、本町通りを練り歩いた。供奉として菟道小学校の児童たちも伝統装束を身にまとい、均鉾や祭具を手に列をなした。

見せ場となる馳せ馬では、京都大学馬術部の井上心さん（20）＝2回生＝がカジキ（オス・10歳）に騎乗。小雨が降る中、パカッ、パカッと軽快なひづめの音を響かせて宇治神社御旅所前から一ノ坂まで4往復すると、雨を吹き飛ばす疾走に見物客から歓声と拍手が沸き起こった。

県通りでは、町中の災厄を集めた大幣を男衆が「ワッショイ、ワッショイ」の掛け声を上げながら引きずり、後方からやって来る馬にせかされるように約500㍍駆けた後、悪病退散を願って宇治橋から宇治川に投じた。

騎馬神人の大役を果たした井上さんは、雨で滑りやすくなった坂道でも冷静に手綱をさばき、「初めてだったけれど、楽しかった」と笑顔を見せた。

町中の災厄を集めた大幣を全力で引きずり、宇治橋を目指す男衆

進捗評価シート　（様式1-5）

評価軸⑤-2

効果・影響等に関する報道

評価対象年度	令和元年度

報道等タイトル	年月日	掲載紙等
文化財の現場から	令和2年2月5日	京都新聞
歴史散歩　地域勢力の変化語る巨大墳　京都・宇治古墳群	令和2年2月28日	朝日新聞

定性的・定量的評価（自由記述）　*※定量的評価は可能な範囲で*

宇治橋東方の丘陵上にある古墳時代中期の古墳である二子山古墳は、保存に向けた発掘調査を行い文化財の申請に向けた準備を進め、平成30年10月15日「宇治古墳群」を構成する古墳のひとつとして史跡に指定された。文化財保護の普及啓発につながる。

進捗状況　*※計画年次との対応*	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
□計画の進捗に影響あり ■計画の進捗に影響なし	

状況を示す写真や資料等

朝日新聞2020年（令和2年）2月28日

ぶらっと関西　歴史散歩

京都・宇治古墳群

地域勢力の変化語る巨大墳

京都府宇治市の住宅街にはいくつもの古墳が点在している。古代から交通の要衝として重要な役割を果たしてきた宇治川右岸に残る「宇治古墳群」だ。

古墳時代の前期から中期にかけて、観音山古墳、二子山古墳の北墳と南墳、瓦塚古墳と、直径30～46・5㍍の円墳4基が続けて造られた。後期には突如、古墳群で唯一の前方後円墳の二子塚古墳が築造される。墳長112㍍と群を抜いて大きく、二重の周濠に囲まれていた。

4～6世紀にかけたこの時期に、何があったのか――。市文化財保護係の荒川史さん（60）に現地を案内してもらった。

まずは、二子山古墳に向かった。古墳に通じる道が整備されていないため、谷を一つ隔てた山へ。登っていくと二子山を臨めるが、木々に覆われ、教えてもらわなければ、どこに古墳があるかはわからなかった。

荒川さんによると、北墳には棺を納めるための埋葬施設が3カ所あり、鉄製の武器や農工具のほか、銅鏡やガラス小玉などの副葬品も見つかった。出土した甲冑はいま、さびて赤茶色になっているが、本来は黒漆が塗られていたそうだ。

一方、二子塚古墳は「二子塚古墳公園」として整備されていて、一目で古墳とわかる。住宅街の中、こんもりとした森と池が残っていた。「後円部」からは巨大な横穴式石室の基礎遺構が見つかり、当時の山城地域では最大級だったという。

墳丘の形は、ヤマト政権の継体天皇の墓とされる大阪府高槻市の今城塚古墳とほぼ同じことから、強い関連があると指摘されている。荒川さんは「円墳を築造していた地域勢力が、古墳時代後期に新たな展開を見せた。政権中央との結びつきを示す貴重な遺跡だ」とみる。

古墳群は、都市開発などで何度も危機に直面してきた。荒川さんは「史跡として大切に守っていきたい」と力を込めた。

（高井里佳子）

二子塚古墳を案内する荒川史さん＝京都府宇治市五ケ庄

二子山古墳の北墳から出土した甲冑＝京都府宇治市折居台1丁目

宇治古墳群　古墳時代前期～後期に造られた5基からなる古墳群。2018年に国史跡に指定された。もっとも大きい二子塚古墳は1100年代の日記に「二子陵」の記述があるなど、早くから記録が残されてきた。古墳群の一部の出土品は4月19日まで、宇治市歴史資料館（宇治市折居台1丁目）で展示されている。午前9時～午後5時。月曜休館。無料。問い合わせは同資料館（0774・39・9260）。

京都新聞2020年（令和2年）2月5日

CULTURE カルチャー

遺跡探

文化財保存の現場から

史跡　宇治古墳群

盗掘免れた副葬品多数

進捗評価シート　（様式1-5）

評価軸⑤-3

効果・影響等に関する報道

評価対象年度　令和元年度

報道等タイトル	年月日	掲載紙等
所有者の思いに応え修繕　日本最古の旧茶工場	令和2年2月11日	洛タイ新報

定性的・定量的評価（自由記述）　*※定量的評価は可能な範囲で*

景観法による景観重要建造物として指定し、保存・活用することで、市民が後世へと引き継ぐ意識の向上につながった。

進捗状況　*※計画年次との対応*	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
□計画の進捗に影響あり ■計画の進捗に影響なし	

状況を示す写真や資料等

所有者の思いに応え修繕

宇治市まち審　日本最古の旧茶工場

宇治市まちづくり審議会（会長＝松岡拓公雄・亜細亜大教授）が10日、市役所議会棟で開かれ、昨年3月に景観法に基づく市内第1号の景観重要建造物として指定された寺川俊男氏所有の土蔵（宇治壱番40番地）の修繕概要について、市が報告した。

土蔵は地上2階建て（高さ6・3㍍）で、江戸時代中期に描かれた「宇治郷総絵図」には記されており、少なくとも1751年以前に建てられた日本最古の茶工場。現在は倉庫として活用されている。

修繕では「切妻」の屋根の葺き替えを行い、外壁は白漆喰の塗り直しと焼杉板の貼り替えを実施。総額は約1000万円で、補助金として約300万円を交付した。

所有者の息子にあたる寺川勝之氏は「（土蔵の隣接地に）伝統のワラを使った本ず茶園を整備する。5年ぐらい経てば（旧茶工場と本ず茶園で）日本で唯一、当時の姿を残す景色になる」と期待を膨らませた。

当初、壊す方向での相談を受けた近所の寺川徹氏は、抹茶カフェなど観光施設としての転用を促したが、父子が茶園を続ける固い決意を示したことを紹介。特に勝之氏は「僕が辞めたら、中宇治の三角地での茶園が終わる」と発言し、土蔵を残すことに舵を切ったという。

さらに市歴史まちづくり推進課についても瓦を少しでも残すため、1枚1枚、丁寧に選別してくれたことを徹氏は紹介。所有者の「生業を残したい」との強い思いに応えてくれたことを説明した。

委員からは「歴史的な建物を残すことは難しい。残ってよかった」、「残すことは所有者に多大な負担。みんなで守る仕組みを」などの声があった。

修繕を終えた寺川氏所有の土蔵

進捗評価シート　（様式1-5）

評価軸⑤-4

効果・影響等に関する報道

評価対象年度	令和元年度

報道等タイトル	年月日	掲載紙等
歴史公園ﾐｭｰｼﾞｱﾑ　**茶、宇治の歴史知り街中へ**	令和2年3月10日	洛タイ新報

定性的・定量的評価（自由記述）　*※定量的評価は可能な範囲で*

「（仮称）お茶と宇治のまち歴史公園」内に整備されるミュージアムの展示概要が紹介され、市民の皆様の期待を膨らませ、来年6月のオープンが待ち遠しいことである。

進捗状況　*※計画年次との対応*	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
□計画の進捗に影響あり ■計画の進捗に影響なし	

状況を示す写真や資料等

宇治市　歴史公園内ミュージアム

茶、宇治の歴史知り街中へ

巨大模型や体験コーナーなど

宇治市は9日、来年6月のオープンを目指す「（仮称）お茶と宇治のまち歴史公園」内に整備されるミュージアムの展示概要について、市議会・建設水道常任委員会（稲吉道夫委員長）に報告した。来園者を街中への周遊観光に誘うことを主眼に内容を整理。ダイナミックな映像と音で、宇治茶と宇治のまちの魅力を紹介する。

歴史公園は国史跡・宇治川太閤堤跡に整備する新たな観光拠点。宇治茶の魅力と宇治の歴史・文化へ誘う玄関口として、大きく分けて2つのゾーンで構成する。

「史跡ゾーン」には太閤堤の復元文化財、修景茶園などを整備。「交流ゾーン」にはミュージアム等が入る「（仮称）お茶と宇治のまち交流館」などを設ける。

市は設計・建設・維持管理等の大半を民間事業者に任せるPFI事業を導入。㈱宇治まちづくり創生ネットワーク（代表企業＝NECキャピタルソリューション㈱）に発注し、18年5月に公表したミュージアム展示に関する提案内容をベースに調整を図ってきた。

展示は「宇治茶を中心とした宇治の歴史文化を紹介」する内容に見直した。ゾーニングについて、従来は「宇治茶と宇治の歴史ゾーン」としていたが、「お茶」「歴史」の2つのゾーンに分けて整理した。

お茶ゾーンは、シンボルツリーとして「茶の木」で展示が始まる。宇治茶の誕生からブランド形成まで歴史を紹介し、3次元コンピューターグラフィックス（3DCG）を活用。茶壺を運ぶ籠の模型、製茶道具などを展示するとともに、茶葉に触れたり、匂い体験のコーナーも設置する。

また、現在の茶づくりに関しては手もみ、機械もみなどを紹介し、伝統的な本ず製法（覆下園）を解説。高品質な宇治茶のできる過程を知ってもらうことで魅力に気付いてもらう。

続く歴史ゾーンは、入口に巨大10円玉を配置し、古事記や日本書紀に登場する「宇治」を紹介する。平安時代には貴族に愛されたが、宇治橋はたびたび合戦の舞台になった歴史も。太閤堤の必要性は天下人『豊臣秀吉』が映像とグラフィックで教えてくれる。

このほか、気になった情報を来訪者のスマートフォンに保存ができ、街歩きの最中に確認することが可能。宇治ならでは写真映えスポットを巡るスタンプラリーも体験できる。

いずれも最初にミュージアムを訪れてもらい、実際に町に出て実物を見てもらうことを主眼に構成。当初提案にあったVR（仮想現実）、ARVR（拡張現実）の演出はなくなったが、年間来園者は引き続き約11万5000人を想定しており、来訪者に周遊観光を促す。

【写真＝ミュージアムの全体イメージ（宇治市提供）】

法定協議会等におけるコメント

（様式2）

評価対象年度	令和元年度

・法定協議会等におけるコメント

コメントが出された会議等の名称：宇治市歴史的風致維持向上協議会（書面会議）

会議等の開催日時：令和2年5月25日～令和2年6月5日

（コメントの概要）

①宇治上神社から興聖寺石門より宇治川上流に登る沿線の安然と美化を願いますとき、崖や斜面、その裾などの安全性と美化、路面や道脇の清掃。大吉山、朝日山と南東に連なる十万余坪に余る山に寄り添って流れる宇治川の東側の黒色の岩壁が連なる見事な巌肌、全く素晴らしい。その巌盤に護られて流れ下る、宇治川の水清く大阪湾に送られ、この巌場の豪壮さは、鞍馬山川や嵐山川にも比す処の絶景であり、対岸の南側車道からの眺望は宇治川でこその風景である。願わくは、河端の草木の刈り取り払われますこと。

②歴史公園の整備について、ＪＲ宇治駅や平等院、宇治橋通り商店街から歴史公園へと人の流れを促す仕組みについて（例：観光看板整備、広告プロポーション計画等）も、計画に盛り込んではどうか。

③文化財見学会等の歴史学習の機会において、改修・整備した建物の内外を見学し、維持すべき宇治の景観と建物の歴史等について、市民への周知・理解増進を図ってはどうか。

④宇治茶普及啓発事業の市民参加型イベントにおいて、アンケート調査を行うことで、満足度やニーズ等を把握し、今後の企画・改善に繋げてはどうか。

⑤観光交通対策検討調査について、自転車での来訪者が年々増加している旨の記載があるが、ルート等の分析はされているか。自家用車と同じか。

⑥歴史的建造物の修理・修景については、文化庁の補助事業で進められるものを除いて積極的に進められていないようであるが、長期的に見て、宇治市内の歴史的建造物の修理・修景は重要な課題であるように思う。重要文化的景観の選定区域以外の地域については、歴史的風致の形成上重要な建造物を、「歴史的風致形成建造物」として指定し、街なみ景観整備事業などを活用して、より積極的な建造物の保全・活用を進めることを検討してもよいように思う。

⑦宇治茶関連の観光振興はまちづくり上、重要な課題である。今後展開する観光プログラムの見通しの確立と、公民で連携した取り組みの推進、関連するソフト・ハードの整備が重要になると思う。フェンス、被覆棚等の工作物や擁壁等の修景も一つで、ボルドーやシャンパーニュ、ブルゴーニュなどのエノツーリズム施策からは学べるところが多いと思う。

⑧本関連事業以外の公共事業（市・府・国、道路、河川、公園等）について、独自の委員会を設置するほどの案件でないものについても、適切に歴史的風致に対する影響の評価や事前検討を行うべく、景観重要公共施設の積極的な指定や庁内の体制構築を強化するのが望ましいと思う。

⑨宇治弐番にある寺院（専修院）の山門が、道路拡幅の為に取壊しになる。江戸期の建物と聞いており、文化財指定に申請していない為、残念に思う。

（今後の対応方針）

①現在宇治川右岸の二子山から朝日山に至る山並みは、名勝宇治山として国の指定を受けている。今後さらに南の山並みも追加指定を行う予定であり、このように文化財の網をかけることにより保全を図るとともに、保存活用計画を策定することにより、具体的な保存･活用の方策を検討していきたい。

②宇治橋周辺の周遊観光の促進については、現計画においてもサイン整備等に取り組んでいることから、まずは事後評価を行い、その後必要に応じて第2期計画の中で検討していきたい。

③引き続き、市民への制度の周知のため景観形成助成の事例紹介をHP上で実施していくとともに、文化財見学会、各種フォーラム等において、建物の見学の機会を提供することにより、建物の歴史等についての市民への周知及び理解の増進を図っていきたい。

④市民茶摘みのつどいにおいて、アンケート調査を行い、満足度やニーズ等を把握し、事後の企画･改善に繋げているほか、宇治茶まつりでは主催者の実行委員会において実施されている調査結果について、情報共有を行っている。引き続き、調査を実施するなかで、企画改善等に繋げていく。

⑤自転車での来訪ルートについて、詳細な分析は行っていないが、自家用車と同様に主要な幹線道路が使用されているものと認識している。法整備が進められるなど自転車の安全利用促進が求められている中で、重点区域内の自転車の流入については、駅周辺に整備している駐輪場の利用促進を図りながら、今後もどのような対応が必要であるのか検討していきたい。

⑥重要文化的景観に係る文化庁の国庫補助事業や、本市が独自に行う景観形成助成金により対象の建造物の保全及び活用を図っているところであるが、今後は、どの制度により建造物を保全し、及び活用していくことが望ましいか、街なみ景観整備事業についても候補に加えて検討していきたい。

⑦「宇治市観光振興計画後期アクションプラン」においても、「宇治茶ブランド活用戦略」を掲げており、覆下茶園の風景や茶問屋が軒を連ねるたたずまいといった宇治市ならではの景観は、本市観光において重要と認識している。今後、現在整備を進めている歴史公園での茶摘み体験を組み合わせた観光プログラムの確立等、茶業関連事業者をはじめ、関係機関と連携しながら計画的に取組を進めていく。

⑧工作物や擁壁などの修景については、特に公共事業において大規模な築造が行われることが多く、これまでも歩道整備事業や歩行空間整備事業、無電柱化事業などを歴史的風致維持向上計画に位置付け、事前に本協議会の意見を聞きながら進めてきた。今後も引き続き、計画段階からの事前協議を求めていけるよう、庁内外の体制の強化を検討する。

⑨撤去までの間でどのような対応が可能か所有者等と調整を行っていきたい。